学校番号	416

令和３年度　家庭科

教科	家庭科	科目	フードデザイン	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	フードデザイン　cooking & arrangement　（教育図書）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

プリントと教科書を用い、講義形式の授業と並行しながら、調理実験・実習等を行う。調理実習では調理技術・調理理論をあわせて学習する。実習前には事前準備・計画をしっかり立て、実習後には毎回振り返り等により課題・問題点の解決をグループで行う。

2　学習の到達目標

食物分野における、栄養、食品、献立、調理、テーブルコーディネートなどに関する知識と技術を習得させ、食生活を総合的にデザインするとともに食育の推進に必要な能力と態度を育てる。

食生活の営みに関わる見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、自分自身が中心となり身近な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成する。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	食事に興味・関心を持ち、意欲的に学習に取り組んだか。	食生活を見直し、食事を楽しむために創意工夫する力が身についたか。調理や食品の安全・衛生について適切な判断ができているか。	栄養、食品、調理、料理様式と献立、テーブルコーディネートなどに関する技術が身に付いたか。 食空間を演出する表現力が養われたか。	栄養、食品、調理、料理様式と献立、テーブルコーディネートなどに関する知識を総合的に身に付けている。
評価方法	授業観察 プリント レポート 定期考査	授業観察 プリント レポート 定期考査	授業観察 プリント レポート 定期考査	授業観察 プリント レポート 定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
一学期末考査まで	健康と生活	○食事の意義と役割 ○食を取り巻く現状	○	○		○	a:自分の食生活に興味・関心を持ち、改善しようとする意欲が感じられる。 b:健康で豊かな食生活を営むための食事のあり方について思考を深める。 d:食事に意義と役割、食生活指針について理解できる。	授業観察 プリント 定期考査
	栄養素・食品の特徴	○栄養素の働き ○健康に必要な栄養素 ○消化・吸収の仕組み ◎調理実習	○	○	○	○	a:栄養の代謝、消化と吸収の仕組みに関心を持ち、理解しようとしている。 b:ライフステージに応じた食生活について考えることができる。 c:調理実習や実験と結びつけて知識を活かそうとしている。 d:栄養素の役割、種類が理解できる。	授業観察 プリント 定期考査
	栄養素・食品の特徴	○食品の特徴 ○食品の加工 ◎調理実習 ○食品の選択と取り扱い	○	○	○	○	a:食品の特徴や調理操作によって変化する食品の成分に関心を持ち、理解しようとしている。 b:身近な食品を選択する知識を習得しようとしている。 c:食品の特徴、調理上の性質及び調理による変化を、実験を通し観察、考察することができる。 d: 食品の特徴、調理上の性質及び調理による成分の変化についての知識を習得することができる。	授業観察 プリント 定期考査
二学期末考査まで	調理と献立	○調理の基本 ○献立作成 ○様式別の献立と調理・食事作法 ○テーブルコーディネート ◎調理実習	○	○	○	○	a:調理の目的について安全性、栄養、心身の健康などの面から興味・関心を持ち、また、代表的な料理形式についても学ぼうとする意欲が感じられる。 b:調理や食品の安全・衛生について適切な判断ができる。 c:食卓作法を身に付け、目的に応じたテーブルコーディネートができる。 d:調理、テーブルコーディネートなどに関する知識を総合的に身に付けようとする意欲が感じられる。	授業観察 プリント レポート 定期考査

二学期末考査まで	調理実習	○和風献立 ○洋風献立 ○中国料理 ○行事食 ◎調理実習	○	○	○	○	a:実習の目標を理解し準備から後片付けに自主的に取り組もうとする意欲が感じられる。 b: 実習の効率のよい手順を考え実行し、安全・衛生について適切な判断ができる。 c:調理ができる基本的な技術が身に付いている。 d: 目的に応じた献立作成や調理における衛生と安全に関する知識を習得することができる。	授業観察 プリント レポート 定期考査
学年末考査まで	豊かな食生活を送る	○行事食 ○国民運動としての食育の推進	○	○	○	○	a:食育推進に当たっての目標値・現状値に興味・関心を持っている。 b:食生活の問題点を考えることが出来る。 c:ホームプロジェクトにつなげていくことができる。 d:よりよい食生活のため知識を深める。	授業観察 プリント レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。